


施策31102 農畜産技術の研究開発と移転 平成24年度 成果25

農畜産技術の研究開発と移転を通じて、農業者や食品産業事業者等による新たな商品やサービスを創出しました。

- ① 新品種の開発と栽培
- ② 品質向上技術の開発
- ③ 流通・保存技術の応用
- ④ 加工・利用技術の応用
- ⑤ 機能性成分の活用
- ⑥ 機械・装置の活用

★ 選択と集中プログラムの成果

水稲新品種「三重23号」 (結びの神)



夏の高温による品質低下が少なく、良食味の水稲新品種「三重23号」の開発。一定品質基準を満たす新商品「結びの神」。

導入先: 県内全域・コメ生産者 (30haで栽培)

かんきつ新品種「みえ紀南4号」



さわやかな風味と硬い果皮が特徴の中晩生かんきつ品種の開発。2月下旬～3月下旬に収穫。

導入先: 御浜町・かんきつ生産者 (約1haで栽培)


熊野市に自生するシマサルナシの優良系統選抜



熊野市に自生するシマサルナシを、東紀州特産果樹とするための優良系統の選抜。

導入先: 熊野市・かんきつ生産者 (約10aで試験栽培)


伊賀産シャインマスカット



国が開発し、上品な香りと皮ごと食べられる大粒種なしブドウ新品種「シャインマスカット」の安定生産技術の開発。

導入先: 伊賀市・ぶどう生産者 (約1haで栽培)

県産小麦「ユメシホウ」



国が開発し、たんぱく質を多く含む、パンに適した県産小麦品種「ユメシホウ」の安定生産技術の開発。

導入先: 玉城町・小麦生産者 (約5.5haで栽培)


復活した品種「関取米」



江戸時代後期の有名品種で菰野町発祥の「関取米」を、高品質で増収(2俵→5俵)できる生産技術の開発。

導入先: 菰野町・コメ生産者 (4戸、90a、525円/3合)


「美里在来」を活用した豆腐



地域特産豆腐の原料に使う、大豆(在来品種「美里在来」)を、高品質で、安定して生産できる摘芯技術の開発。

導入先: 松阪市・豆腐販売事業者(120円/個)


かんきつ新品種「みえ紀南3号」のウイルスフリー苗



高糖度でおいしい極早生うんしゅうみかん「みえ紀南3号」の高糖度なウイルスフリー化技術を活用した苗。

導入先: 熊野市・御浜町・紀宝町・南伊勢町、かんきつ生産者(10戸、約1ha)

熟成かぶせ茶 ★



まろやかで豊かな香りを出す、二重被覆方法及び低温による保存技術(熟成)を活用した茶商品の開発。

導入先: 四日市市 茶生産者 (茶農協、2戸、20a、800円/90g)


飼料米を給与した熊野地鶏の肉 ★



飼料米%給与技術を生かし、ほどよい歯ごたえと、コクのある食味の鶏肉の開発。

導入先: 熊野市・地鶏生産組合 (15,000羽/年)

地域飼料の麦わら給与した和牛の肉



地域粗飼料資源フル活用チャレンジとして、稲わらの代わりに麦わらを利用した県産高品質牛肉生産技術の開発。

導入先: 県内肉用牛生産農家9戸

飼料米を給与した豚の肉



飼料米給与と技術を生かし、オレイン酸を多く含む、柔らかい豚肉の開発。

導入先: 津市・養豚農家 (5,000頭/年)


県産米「みえのゆめ」を主原料として活用した日本酒



県育成水稲品種で、粒が大きく、粘りが少ない「みえのゆめ」を「掛米」として活用した日本酒の開発。

導入先: 酒造メーカ1戸、3,150円/1.8L


県産小麦「ユメシホウ」を活用した食パン



たんぱく質を多く含む、パンに適した県産小麦品種「ユメシホウ」を活用した食パンの開発。

導入先: 玉城町・農産物加工販売事業者(315円/斤)


くんでんゆ 食べるなたね油「口伝油」



紫色がきれいで、抗酸化性と機能性に富む新野菜「いがむらさき」の漬物と地元産なたね油を活用した食べる油「口伝油」の開発。

導入先: 伊賀市・農林業公社 (840円/個)


「みえ紀南4号」ジュースをそのまま飲める果実(容器) ★



かんきつ新品種「みえ紀南4号」の果皮が硬い特徴を活かし、果実を切らず中身をジュースやゼリーにする技術の開発。

導入先: 熊野市・観光産業事業者


シマサルナシを活用した氷菓子



熊野市自生のシマサルナシを、東紀州の新しい特産果樹として活用した、氷菓子のジェラートの開発。

導入先: 熊野市・観光産業事業者 (250円/個)


野生獣の大量捕獲システム



シカ等を大量に捕獲するための、檻やドロップネットなどを遠隔操作できるシステム(まる三重ホカク)の開発。

導入先: 県内市町、5ヶ所、60万円/台

ホテル食品リサイクル肥飼料製造システム



ホテル厨房で出る新鮮な魚介類クズを主とする食品残さの飼料及び堆肥を作るリサイクルシステムの開発。

導入先: 鳥羽市・食品リサイクル研究会(旅館業事業者、他)


農村におけるおからの循環システムの見える化



農村レストランで発生するおからの循環システムの構築と「見える化」による有利販売の提案。

導入先: 多気町・農業法人


獣害対策・連射型専用花火



サルの威嚇効果の検証に基づく、音が大きく、5連射型の獣害対策用花火の開発。

導入先: 亀山市・花火製造事業者 (300円/本)

小麦の種子消毒農薬



小麦「ニシノカオリ」で発生が多い株腐病を予防するため、種子表面に農薬処理する技術を活用した農薬の登録。

導入先: 津市・小麦生産者 (4,500円/250ml)

スムーズに摘み取れる梨の摘果器具



おいしくて大きな梨を生産するため、余分な幼少の果実をスムーズに摘み取れる、刺しゅう器具を活用した摘果器具の開発。

導入先: 梨生産者(約200ha)

コシヒカリの品質低下を抑える肥料



県産コシヒカリの白未熟粒(高温障害)の発生を少なくするため、生育後半における窒素の効果を高める技術に基づく新肥料の開発。

導入先: 県内全域・JA全農 (4,100円/20kg)

窒素成分を高めた鶏糞を含む有機質肥料



有機性廃棄物(鶏糞)を活用した化学肥料並みに窒素成分を高める技術に基づく新しい有機質肥料の開発。

導入先: 県内全域・JA全農 (2,000円/20kg)